

午後 試験

問 1 (システム要件の確定について) は、多くの受験者がシステム要件の確定作業を経験しているからか、選択率が最も高かった。システム要件を確定するために、ユーザに対してどのようなアプローチを行い、どのような提案をしたかについて論述することを期待したが、題意と異なり、設計や実装での解決策についての論述が多かった。

問 2 (障害発生時の影響を最小限に抑えるためのシステム設計について) では、多くの受験者がシステムに対する障害対策を経験していることがうかがえた。しかし、設問で論述することを期待した業務アプリケーションの障害対策についての論述ではなく、システム基盤での対応や、運用対策に終始する論述が多かった。また、障害対策を列挙するだけで、設計における工夫については不十分な論述も多かった。

問 3 (移行計画におけるタイムチャートの事前確認について) では、多くの受験者が移行計画策定や移行作業を経験していることがうかがえた。策定したタイムチャートにおけるクリティカルな部分の見極めと、その事前確認において工夫した点を論述することを期待したが、題意と異なり、移行データ量や作業時間の見積り、移行データ不備への対応策など、移行計画の内容に終始する論述が多かった。